

「神戸市立博物館から旧居留地を歩こう 及び 常設展見学会」のご案内

神戸市内在住の留学生の皆さま

1868年(慶応3年)に神戸港の開港と同時に設けられたのが、外国人に対して居住・営業が自由に許可された地域、居留地(きょりゅうち)です。居留地は横浜・長崎・神戸・大阪・東京などにありましたが、明治32年(1899)、条約改正により廃止・返還されました。そして、居留地は旧居留地と呼ばれるようになりました。

旧居留地界限には神戸の歴史を感じることでできる場所がたくさんあります。たくさんの史跡や地碑があちらこちらに点在しています。レトロビルディングを探して歩くと出会うことができます。神戸開港150年にあたる今年、皆さまに、異国情緒ある街並みにふれていただく「旧居留地を歩こう会」を開催することとなりました。

歩こう会終了後、地域の歴史を伝える資料を中心とした常設展示を鑑賞します。皆様の参加を歓迎いたします。

開催日時：2017年10月14日(土) 10:00~12:00

開催場所：神戸市立博物館 及び 旧居留地

対象者：神戸市内在住の留学生

定員：先着10名様まで(解説は日本語で行います)

締切：10月13日(金)但し、定員にない次第締め切り

参加費：無料 Free

プログラム：10時 (神戸市立博物館) 正面玄関前 集合

10時 旧居留地を歩こう 開始

解説は日本語で行います(英語ガイドあり)

11時30分 歩こう終了後 神戸市立博物館「常設展示」鑑賞

12時 終了後解散



申し込み：氏名(ふりがな)、性別、出身国、学校名、学部、学年、電話番号、E-mailを添えて下記まで申し込みください。

主催：三井ボランティアネットワーク事業団関西支部 菅田(コンダ)・荒井(アライ)

☎TEL:06-4396-8680 E-mail:t.konda@mv-net.com

兵庫国際交流拠点事業推進協議会

三井ボランティアネットワーク事業団では、日本でも信頼のおける企業グループ(三井)を定年退職した者が中心となり、これまでの経験を生かし、留学生の皆さまの日本での手助けになれるよう、安心できる話し相手相談相手としてボランティア活動をしています。